

【尾花沢市】 校務DX計画

令和5年3月に公表された「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」による提言、及び令和6年9月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づいた自己点検を踏まえ、本市の現状と課題を整理した。教職員の負担軽減や働きやすさの向上を目指し、本市の重点項目を以下の通りとする。

1 校務のクラウド環境の活用によるペーパーレス化

行政と学校間のネットワークと学校の校務系ネットワークが分離されていること、学校の校務系ネットワークに接続できる端末が十分でないことから、往復文書や会議資料のペーパーレス化が十分に進んでいない。令和9年度までにデータのやりとりができる環境を整備するとともに、クラウド環境の活用を積極的に行い、ペーパーレス化を進める。

また、市主催事業において、参加者からの回答方法としてFAXを選択肢に入れている。参加者のICT環境を確認しつつ、汎用クラウドツールを活用することで、FAXを利用しない環境を整えていく。

2 ネットワークの統合及びパブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの導入

令和5年1月、統合型校務支援システムを導入している。セキュリティの観点から、校務系システムへのアクセスは職員室及び会議室のみと制限している。しかし、保護者からの連絡をデジタルにて受け、内容を校務系システムへ反映することができない環境となっている。また、サーバ運用は大規模災害等によるデータ消失のリスクもあると考えられる。次期更新は令和10年1月に予定しているが、データ連携等の観点から、ネットワークの統合及び次世代型校務支援システムの導入を進めていく。

3 情報セキュリティの確保

校務のクラウド環境の活用が促進されることで、より情報セキュリティの確保が重要になる。クラウド環境へのアクセスの方法、端末・サーバの運用方法、機密性に応じて取り扱うことができる情報の種類の整理など、高いセキュリティを確保できるよう学校情報セキュリティポリシーを見直すとともに、市内各小中学校の教職員へ周知を図る。

4 ICT環境の整備

「教育DXに係る当面のKPI」がアウトカムとして設定する「①個別最適・協働的な学びの充実」「②情報活用能力の向上」「③学びの保障」「④働き方改革への寄与」の実現に向けて、文部科学省が策定した「学校のICT環境整備3か年計画」に準じて環境整備を進める。